

シラバス参照

授業科目名	理学療法学概論
単位数	1
授業形態	講義
講義コード	6044
授業担当者氏名	齋藤昭彦(サイトウ アキヒコ) 米津亮(ヨネツ リョウ)

授業の到達目標 (ディプロマポリシーとの関連)	(1)理学療法の定義・役割・歴史について説明できる。(DP1・DP2・DP3) (2)理学療法に求められる倫理と哲学、理学療法関連法規・諸制度について説明できる。(DP4) (3)理学療法の過程、チーム医療と関連職種について説明できる。(DP7・DP8・DP9) (4)管理・運営とリスクマネジメント、理学療法士の組織について説明できる。(DP5・DP6・DP7) (5)理学療法士の養成課程、理学療法の研究領域と研究方法について説明できる。(DP3) (6)エビデンスに基づく理学療法とクリニカルリサーチについて説明できる。(DP4) (7)主な理学療法の領域について説明できる。(DP8・DP9)																								
授業概要	この授業では、理学療法学、理学療法的基本的概念、歴史、政治的背景、患者のとらえ方、医療現場での理学療法実施の紹介、理学療法の基礎的方法としての情報収集、評価、問題の把握、計画の立案、実践、成果の確認及び再評価の流れの意味等、理学療法の基礎について体系的に学ぶ、医療現場における理学療法士の専門性及び専門技術や他の医療技術職との違いについて学び、理学家としてのアイデンティティの基盤と心構えを学び、理学療法に対するモチベーションや基本的価値観を養う。																								
教育課程内の位置づけ	リハビリテーション学科 理医学療法学専攻 専門教育科目 専門科目 基礎理学療法学 1年 必修科目																								
授業におけるアクティブな特徴	<table border="1"> <thead> <tr> <th>特徴</th> <th>該当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>B: 課題解決型(PBL)連携なし</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>C: 討議(ディスカッション、ディベート等)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>D: グループワーク</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>E: プレゼンテーション</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>F: 実習、フィールドワーク</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>I: 反転授業</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>J: 外国語のみで行われる授業</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	特徴	該当	A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-	B: 課題解決型(PBL)連携なし	-	C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	-	D: グループワーク	○	E: プレゼンテーション	○	F: 実習、フィールドワーク	-	G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	-	H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○	I: 反転授業	-	J: 外国語のみで行われる授業	-	K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業	
特徴	該当																								
A: 課題解決型学習(PBL)企業、自治体等との連携あり	-																								
B: 課題解決型(PBL)連携なし	-																								
C: 討議(ディスカッション、ディベート等)	-																								
D: グループワーク	○																								
E: プレゼンテーション	○																								
F: 実習、フィールドワーク	-																								
G: 双方向授業(ICT活用なし: 対話型、リアクションペーパー等)	-																								
H: 双方向授業(ICT活用あり: クリッカー、manaba等)	○																								
I: 反転授業	-																								
J: 外国語のみで行われる授業	-																								
K: オープンな教育リソース(JMOOC・edX・Coursera等)を利用した授業																									
実施形態	対面授業科目																								
実施形態について	※本学では、授業科目を以下のとおり分類しています。 対面授業科目：授業回数の全部あるいは授業回数の半数以上を対面で行う授業科目 メディア授業科目：上記「対面授業科目」以外で、主にメディアで行う授業科目 ※上記実施形態と異なる授業回がある場合は、以下「授業計画」欄に記載しています。 ※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更となる可能性があります。 変更の場合はmanaba等で連絡します。																								
授業計画	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>オリエンテーション・理学療法の主な領域(米津)</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>理学療法の定義・役割・歴史(齋藤)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>理学療法に求められる倫理と哲学、理学療法関連法規・諸制度(齋藤)</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>理学療法の過程、チーム医療と関連職種(齋藤)</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>管理・運営とリスクマネジメント、理学療法士の組織(米津)</td> </tr> </table>	第1回	オリエンテーション・理学療法の主な領域(米津)	第2回	理学療法の定義・役割・歴史(齋藤)	第3回	理学療法に求められる倫理と哲学、理学療法関連法規・諸制度(齋藤)	第4回	理学療法の過程、チーム医療と関連職種(齋藤)	第5回	管理・運営とリスクマネジメント、理学療法士の組織(米津)														
第1回	オリエンテーション・理学療法の主な領域(米津)																								
第2回	理学療法の定義・役割・歴史(齋藤)																								
第3回	理学療法に求められる倫理と哲学、理学療法関連法規・諸制度(齋藤)																								
第4回	理学療法の過程、チーム医療と関連職種(齋藤)																								
第5回	管理・運営とリスクマネジメント、理学療法士の組織(米津)																								

	第6回	理学療法士の養成課程、理学療法の研究領域と研究方法(米津)
	第7回	エビデンスに基づく理学療法とクリニカルリーズニング(米津)
授業外学修 予習(事前学修)	各授業 [100分]	教科書の該当ページを読み、疑問点を整理しておくこと
授業外学修 復習(事後学修)	各授業 [100分]	講義毎に要点をノートにまとめること
評価方法	定期試験100%	
教科書等	【教科書】 「概説理学療法 - 理学療法の原点とその展開-」 第2版 文光堂 2015 【参考書】 「理学療法概説」第4版 医学書院 2014	
課題に対するフ ィードバックの 方法	manabaを利用し、フィードバックを行う。	
その他	(1)将来の職業である「理学療法」や「理学療法士」について理解する機会となる。 (2)ICT(manaba、クリッカー、タブレット端末)を活用した双方向型授業や学習を行う。	
授業担当者の 実務経験の有 無	実務経験あり	
「授業担当者の 実務経験の内 容」および「実 務経験を活かし た授業内容」	大学病院、老人保健施設、リハビリテーション病院、クリニックなど様々な理学療法の臨床と大学での教育経験をもとに理学療法全般について解説する。	
ファイル		